

2年研究授業の成果と課題

① 課題設定、活動に興味、関心をもたせるための工夫（主体的な学びにつなげる手立て）

成果

- ・相手意識（1年生）が明確だったことで児童が主体的に話し合いをすることができた。
- ・学習カードの工夫によって、すすんで気付いたことや良かったことを発表することができた。
- ・1組と2組の交流によって、1年生が楽しめるおもちゃの工夫を考えることができた。

課題

- ・支援が必要（友達との交流が困難、理解が難しいなど）な児童に対しての教師からのアドバイスや声かけが必要であった。
- ・素材を与えて十分に遊ばせ、考える時間が必要であった。そこから「こうしたらいい」を子どもから出させることが大切である。

② 評価の工夫

成果

- ・表現することが苦手な児童を見取るために活用することができた。
- ・ふり返しカードを使って評価することができた。

課題

- ・評価項目が多いので、見取りが難しい。
- ・評価項目や評価する児童、どんな活動で評価するかを計画的に評価する必要があった。

③ 児童の変容・教員の指導の工夫（事後研究）

児童

- ・アドバイスを受けて、実際にやってみることで、自分たちでできることを考えたり、道具やルールを改良したりすることができるようになった。

教員

- ・支援が必要な児童へのアドバイスや声かけを意識して行っている。
- ・学習活動の流れを変えた（話し合う、試す、作る、の活動をまとめて行う）。
- ・目的を再認識させてから活動に取り組むようにした（より目的を意識させるため）。

1組と2組の交流（アドバイスタイムの様子）



アドバイスカードと学習後の振り返り

